

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		入居者の方々は認知症はもちろん、それぞれの病気を持っている。その中には、痛みなどの訴えが自分からできない入居者もいる。入居者ひとりひとりに合った支援が必要である。	入居者のささいなサインを見逃さず、日々観察をする。職員同士、その他関係している者たちとの情報共有をし、連携を図ることで、ひとりひとりに合ったケアプランを作成し、目標に向かえるよう支援して行く。	日々の生活の中での入居者の状態変化やいつもとちがう様子などを職員同士で情報共有し、主治医・嘱託医・訪問看護、家族等と連携を図ることで、目標に向かってのモニタリングをしっかりと行う。	12ヶ月
2		認知症の進行に伴い、いろんな症状が出現するが、その度に戸惑うことがある。	ひとりひとりの尊厳を大事にし、いつまでも自分らしく生活できるように支援する。	ひとりひとりの症状を正しく理解し、できることとできないことをしっかりと把握する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。